

地域医療支援病院運営委員会および地域協議会 議事録

開催月日	令和6年 11月 7日(木) 18時30分～19時00分		
開催場所	JCHO 北海道病院 講堂		
委員長	寺本 信先生	事務局	総合支援センター：兼子
委員出席者 (敬称略)	〔外部委員〕 寺本 信 (札幌市医師会豊平支部 副支部長) 佐藤 恵 (腎臓内科めぐみクリニック 院長) 佐々木 泉顕 (弁護士法人 佐々木総合法律事務所) 中川 大輔 (札幌薬剤師会 豊平・清田支部長) 向 俊孝 (札幌市民政委員児童委員協議会 理事) 〔当病院職員〕 数井 啓藏 (JCHO 北海道病院 副院長兼総合支援センター長) 長井 桂 (JCHO 北海道病院 統括診療部長) 山我 健 (JCHO 北海道病院 事務部長) 鈴木 千春 (JCHO 北海道病院 看護部長)		
委員欠席者 (敬称略)	〔外部委員〕 岡嶋 真紀 (豊平区役所保健センター 札幌市豊平区保健福祉部長) 古家 乾 (JCHO 北海道病院 病院長) 長 和俊 (JCHO 北海道病院 副院長兼周産期医療センター長)		
要旨	議題 1. 当病院の地域医療連携の現況報告 1) 一日平均患者数の推移 上半期(4～9月)の一日入院患者数は、前年比で減少。11月は患者数は戻りつつある。 2) 紹介患者数・紹介率、逆紹介患者数・逆紹介率の推移 4・5月は整形外科の患者の移動が多かったが、その後全体的に患者数が少なかった。循環器内科医1名増員、膠原病内科と内分泌内科の紹介患者受け入れを再開しており、必要な患者を紹介いただけるよう近隣へのアナウンスを継続する。紹介率・逆紹介率は維持している。 3) 月別手術・内視鏡・分娩件数 全科手術件数は上半期で昨年度の手術件数を上回るペース。ダヴィンチ導入し泌尿器科手術件数が伸びている。内視鏡件数は、患者数減少の影響か下部内視鏡の利用が少なかった。循環器内科アブレーション手術は順調に治療件数を伸ばしている。 質問) 麻酔薬の供給不足が話題になっていたが、手術に影響はあったか? 回答) 当院では手術等に影響が出ている状況はない。 4) 共同利用		

MRI の利用件数が増加。一方で CT は利用件数減少。利用していただきやすいように検討していく。

2. 手術支援ロボット運用報告

3 月に導入し 10 月までに 68 件手術実施。手術時間も短くなっている。術中のトラブルもなく、今後も安全な治療ができるよう取り組んで行く。肝胆膵の手術資格を外科・植木医師が取得。12 月以降手術できる準備を進めている。

3. その他

1) 電子処方せんについて

近隣薬局との調整を継続中。必要時薬剤師会と連携する。

質問) マイナンバーカードの利用率は上がっているか?

回答) 専用受付レーンを設けているが、利用率は上がっていない。

2) JCHO 北海道病院健康祭り 2024 開催報告

9 月 14 日 (土) 開催。約 500 名と多くの地域住民にご参加いただいた。講話やダヴィンチのシミュレーター、子どもに楽しんでもらえるブースなどを設けた。豊平区役所、各企業にも協力をいただきイベントを実施できたことに感謝申し上げます。次年度以降も継続予定なので地域の関係機関の皆様にもご協力をお願いします。

4) 地域講演会について

12/10 (火) 中の島まちづくりセンターにて地域講演会を企画。現在広報中。

5) 病院広報誌・連携医療機関の紹介

年 4 回発行中の「JCHO 北海道病院だより」と院内職員広報誌「はまなす」では、地域医療機関との密な連携のために連携医療機関の紹介ページを設けることとした。初回は寺本先生に原稿を記載いただき、現在校正中。

次回開催 令和 7 年 2 月 6 日 (木) 18 : 30 予定